

## 放牧主体の飼養体系で生産性の高い酪農経営の確立 ～黒木牧場～

### 経営体の概要

事業実施前：平成19年  
 基幹作物：牧草、乳牛  
 経営面積：43ha  
 飼養頭数：44頭



事業実施後：平成29年  
 基幹作物：牧草、乳牛  
 経営面積：48ha  
 飼養頭数：68頭

### 取組の経緯と経営転換のポイント等

農業に憧れ平成17年に(有)浜中町就農者研修牧場で研修し、平成19年に新規就農した。資金返済を円滑に行うため低コストで収益性の高い経営を目指し、昼夜放牧による飼養管理の労力節減、データに基づく飼料給与で高い生乳生産の実現とスラリー化によるふん尿処理の省力化、購入肥料の低減を図った。

### 営農改善のポイント

#### ①栽培技術の確立・向上

飼養管理の労力軽減を図るため夏期間を放牧主体の飼養形態とし、放牧地の生草とパドックでの乾草ロールの自由採食、搾乳時の産乳量データに基づく飼料給与を行うことで、高い生乳生産量(9,500kg/頭・年)を確保する飼養体系を確立した。



牛舎全景

#### ②省力化

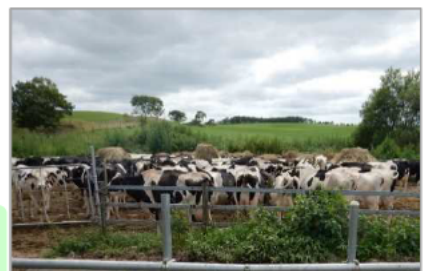
肥培かんがい施設の整備によって、スラリー化するための攪拌・曝気や配水調整槽への移送は、ほぼ自動化されたことで、作業は装置・機器の操作点検等に限定され省力化が図られた。スラリー散布は、作業委託に変更したことで、省力化され搾乳に専念できるようになった。



放牧中の乳牛

#### ③単収・品質の向上

平成23年からスラリーを散布できるようになり、牧草の生育は著しく良好となった(周辺農家と同様の4,000kg/10a程度)。スラリー散布により、購入肥料による追肥が不要となった。



パドックで搾乳を待つ乳牛

### 事業概要

事業種：環境保全型かんがい排水事業  
 関係市町：北海道厚岸郡浜中町  
 受益面積：13,065ha  
 事業期間：平成13年度～平成23年度  
 事業目的：畑地かんがい、排水改良、  
 主要工事：揚水機場2箇所、用水路349.6km、  
 排水路47.4km

### 位置図(北海道)



はまなか地区

### <問い合わせ先>

北海道開発局 農業水産部  
 農業振興課 調整係  
 電話：011-709-2311  
 (内線5684)

(平成29年度調査時点)